

テンション構造 Tension

Tension Structure

引張専用の部材(テンション材)を使用することで、多様な架構を創り出すことができます。架構条件により、形鋼、ロッド、ケーブルなど様々な種類のテンション材が選択可能です。

■**軽快な空間を創造** 鋼棒やケーブルに引張力を意図的に作用させることで、テンション材の見付幅を小さくすることが可能で、部材数も必要最小本数となり、軽快でデザイン性に優れた空間を創り出します。また、テンション材の仕口も意匠性に優れたピン接合とすることにより、コンパクトな仕口が可能です。

■**様々な利用方法** 一般的な張弦梁構造をはじめとし、吊屋根構造や壁面など様々なテンション構造に対応することが可能です。建方時に張力を導入する場合は、張力導入方法や張力導入量によって、構造物の応力状態が変化するため、詳細な建方計画が必要となります。

■**合理的な構造形態** 圧縮材と引張材を使い分けることにより、合理的な構造形態が可能です。

■**特殊施工への活用** テンション構造は、本体構造のみに留まらず、リフトアップ工法、スライド工法などにおいて、架設時形状保持方法としても有効に活用することができます。

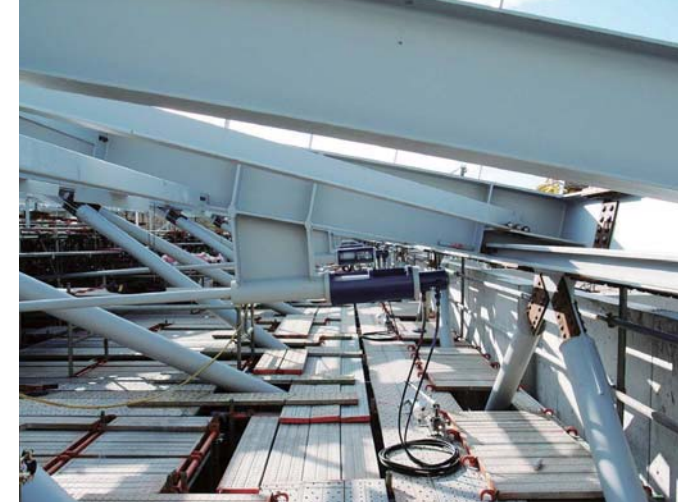


G-25 エコパアリーナ

テンション材を用いたハイブリッド構造

Hybrid Structure using Tension Members

張力導入例



ロッド端部



ロッド中間部

